

持続可能な社会の実現に向けて

プラスチックごみの削減

プラスチック製品はとても便利で使いやすいですが、燃やすと温室効果ガスが多く排出されてしまい、地球温暖化の一因と言われています。

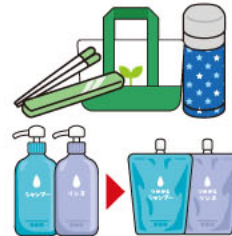
またポイ捨てされたプラスチックごみが大量に海に流れ出て、海洋の環境や生態系にも悪影響を与えています。



どうしても不要になって捨てる際には、プラスチック容器包装類、ペットボトルはしっかり分別し、リサイクルできるようにしましょう。

プラスチックごみを減らすためにできる事

- マイボトル、マイ箸を持参することで使い捨ての容器や食器を減らす。
- シャンプーや洗剤は詰め替えを使い、ボトルを再利用する。
- 買い物の際には簡易包装を利用する。



このまま増えていくと、2050年には海洋プラスチックごみは海の魚の量を上回ると言われているよ。



プラスチック容器包装類・ペットボトルのリサイクルについて

プラスチック容器包装類のリサイクルについて

収集されたプラスチック容器包装類は、リサイクルプラザで目視で手選別しリサイクルできない異物を取り除いたのち、圧縮梱包機で固まり(ペール)にしてリサイクル事業者へ引き渡しています。

リサイクル事業者の工場では、以下のように新たな製品に生まれ変わったり、製鉄の工程などで原料として利用されます。

(出典 日本容器包装リサイクル協会ホームページ)



ペットボトルのリサイクルについて

使用済みのペットボトルを原料に、新たなペットボトルを製造することを『ボトルto ボトル』といいます。

市では、この『ボトルto ボトル』に取り組むため、市と豊田通商、キリンビバレッジの間で協定を締結し、現在では、市で収集したペットボトルは全量を豊田通商へ引き渡し、キリンビバレッジで新たなペットボトルとして再生され、流通しています。



可燃ごみ

古紙
拠点回収

清掃
事務所

ペットボトル・
プラスチック
容器包装類

その他の
不燃ごみ

リサイクル
プラザ

粗大ごみ

引き取り
出来ないごみ
補助制度

清掃活動支援
手数料の
使い道

舞鶴市の
ごみの状況

事業者の
皆様へ

ごみ収集
カレンダー

ごみ分別例
一覧